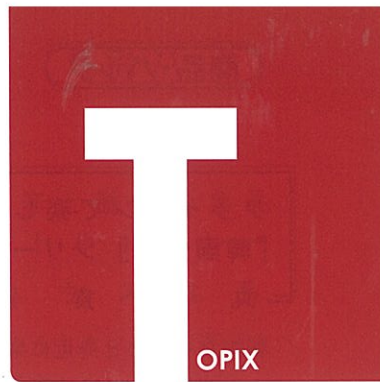


多摩のB級グルメ展 TOKYO-Xのうどんが優勝 多摩げた食の祭典



二日間で3万7000人が来場した

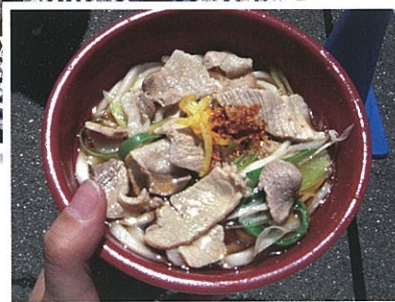
近年、人気を集めているB級グルメ大会の大多摩地域版「第1回多摩げた食の祭典・大多摩B級グルメ」が5月26～27日の2日間、東京都あきる野市の東京サマーランドファミリーパーク駐車場で開催された。

大会では東京都青梅畜産センターで開発されたブランド豚「TOKYO X」を使った青梅市の「青梅生まれトウキョウX肉うどん」が見事優勝。同イベントには大多摩地域の10市町村からB級グルメ30品が出品され、二日間で3万7,000人が

来場。どのブースも長蛇の列ができた。

審査は品物を購入する毎にメダルがもらえ、その投票数で競われた。各ブースには千枚のメダルが割り当てられており、購入した品物でないものにも投票することができる。優勝した肉うどんは地元の麺組合がうどんを打ち、薄切りの軟らかな「TOKYO X」豚がふんだんに盛られたことが決め手となった。

そのほか「TOKYO X」関連ではX豚と大量に煮込んだ



醤油ダレで炒めた青梅市の「トウキョウX濃厚ブラックソース焼きそば」が6位、2日目に千枚のメダルを配りきり競技終了2時間前に完売となった福生市の「福生ドッグTOKYO X ハーフカット」が9位と好評だった。

なお2位が小菅村の「よちよちヤマメの唐揚げ」、3位はあきる野市の「だんべえ汁」となった。